

## 賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 (〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西7丁目北海道第二水産ビル4階)

阿寒観光汽船株式会社 (〒085-0467 北海道阿寒郡阿寒町阿寒湖温泉1-5)

全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (〒273-0017 千葉県船橋市西浦3-2-2)

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保1769)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜市曙町4-15)

(株) ハクジュ・ライフサイエンス (〒173-0014 東京都板橋区大山東町32-17)

(有) 祐千堂葛西 (〒038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井38-1)

株式会社ナボカルコスメティックス (〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザ11階)

総合科学株式会社 (〒540-0024 大阪市中央区南新町1-4-8)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町1-3-5)

## 海産微細藻類用培地

### <特徴>

- ◎ 多彩な、微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖。
- ◎ 精製水に溶かすだけで、手軽に使用できる。

IMK 培地  
は、多種多様な微細藻  
類に使用可能な培地です。人  
工海水 SP は、海水の成分が自  
然に近い形で混合されており、  
精製水に溶かすだけで使  
用できます。

### ダイゴ IMK 培地

100 L 用×10      398-01333  
1000 L 用×1      392-01331

微細藻類に共通して使える培地です。  
生育に必要な成分が含まれています。

### ダイゴ人工海水 SP

1 L 用×10      395-01343

海水 SP の成分が自然に近い形で混合  
されています。

お客様のご要望に応じた培地も特注でお受け致します。

製造 日本製薬株式会社 ライフテック部  
大阪府泉佐野市住吉町26番  
〒598-8558 TEL 072-469-4622

販売 和光純薬工業株式会社  
大阪市中央区道修町三丁目1番2号  
〒541-0045 TEL 06-6203-3741  
東京都中央区日本橋四丁目5番13号  
〒103-0023 TEL 03-3270-8571

URL <http://www.nihon-pharm.co.jp/lifetech/>



photograph by Yuki Onodera



株式会社 日本海洋生物研究所

●本社

〒142-0042 東京都品川区豊町4丁目3番16号  
PHONE:03-3787-2471 FAX:03-3787-2475

■分室

〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目7番7号  
PHONE:03-3779-1630 FAX:03-3779-1629

●大阪支店

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18番28号  
PHONE:06-6369-3811 FAX:06-6369-3812

●中部支店

〒460-0021 愛知県名古屋市中区金山2丁目14番1号 司ビル2階  
PHONE:052-324-8311 FAX:052-324-8316

●札幌支店

〒007-0862 札幌市東区伏古2条5丁目5番15号  
PHONE:011-786-3361 FAX:011-786-3365

壊すことはできても、  
創りだすことはできない自然環境  
私たちは、しっかり見つけて守ります。

# 小林弘珪藻図鑑

今秋刊行!

小林 弘 南雲 保・出井雅彦 著  
真山茂樹・長田敬五

## 淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA<sub>lpo</sub>, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5 判上製・総頁 784 頁・定価 34650 円  
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集。膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史/環境指標としての珪藻群集/湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DA<sub>lpo</sub>/珪藻の生活様式/試料の採集/試料の処理と検鏡/形態(種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目 (Centrales) の分類 II 羽状目 (Pennales) の分類 II A 無縦溝亜目 (Araphidineae) の分類 II A ディアトマ科 (Diatomaceae) II B 有縦溝亜目 (Raphidineae) の分類 II B<sub>1</sub> ユーノチア科 (Eunotiaceae) II B<sub>2</sub> アクナンテス科 (Achnantheaceae) II B<sub>3</sub> ナビクラ科 (Naviculaceae) II B<sub>4</sub> エピテミア科 (Epithemiaceae) II B<sub>4</sub> ニチア科 (Nitzschiaceae) II B<sub>5</sub> スリレラ科 (Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

## 有用海藻誌 海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 著 B5 判・総頁 592 頁・定価 21000 円 (本体 20000 円+税 5%)

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても現在得られている知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の 3 編 31 章から構成され、それぞれの分野で、長く研究にかかわってきた執筆者が、専門の分野を詳述する。

## 新日本海藻誌 ー日本産海藻類総覧ー

吉田 忠生 著 B5 判・総頁 1248 頁・定価 48300 円 (本体 46000 円+税 5%)

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大家「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約 60 年間の研究の進歩を要約し、1997 年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約 1400 種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

## 藻類多様性の生物学

千原 光雄 編著 B5 判・400 頁・定価 9450 円 (本体 9000 円+税 5%)

第 1 章 総論 第 2 章 藍色植物門 第 3 章 原核緑色植物門 第 4 章 灰色植物門 第 5 章 紅色植物門 第 6 章 クリプト植物門 第 7 章 渦鞭毛植物門 第 8 章 不等毛植物門 第 9 章 ハプト植物門 第 10 章 ユーグレナ植物門 第 11 章 クロララクニオン植物門 第 12 章 緑色植物門 第 13 章 緑色植物の新しい分類

## 淡水藻類入門 淡水藻類の形質・種類・観察と研究

山岸 高旺 編著 B5 判・700 頁・定価 26250 円 (本体 25000 円+税 5%)

「日本淡水藻図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。I 編、II 編で形質と分類の概説を行い、III 編では各分野の専門家による具体的事例 20 編をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

表示の価格は税込定価 (本体価格+5%) です。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3 内田老鶴園  
TEL.03-3945-6781 FAX.03-3945-6782

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号, 会員価格 1,750 円, 非会員価格 3,000 円; 30 巻 4 号 (創立 30 周年記念増大号, 1-30 巻索引付き) のみ会員価格 5,000 円, 非会員価格 7,000 円; 欠号 1-2 巻全号, 4 巻 1, 3 号, 5 巻 1, 2 号, 6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻, 会員価格 1,500 円, 非会員価格 2,000 円; 11-20 巻, 会員価格 2,000 円, 非会員価格 3,000 円; 1-30 巻 (創立 30 周年記念), 会員価格 3,000 円, 非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補, 1977, A5 版, xxviii + 418 頁。山田先生の遺影, 経歴・業績一覧・追悼及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇 (英文 26 篇, 和文 24 篇) を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編, 1972, B5 版, xiv + 280 頁, 6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で, 20 篇の研究報告 (英文) を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977, B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

2006 年 7 月 5 日印刷

2006 年 7 月 10 日発行

© 2006 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者

北山太樹

〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館植物研究部

Tel 029-853-8975

Fax 029-853-8401

印刷所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

発行所

日本藻類学会

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学内海域環境教育研究センター

Tel & Fax 078-803-5781

禁 転 載  
不 許 複 製

Printed by Isebu Inc.

## 藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第54巻 第2号 2006年7月10日

## 目次

岩滝光儀・川見寿枝・高山晴義・吉田天士・広石伸互・松山幸彦・Juan R. Relox Jr.・松岡数充 日本沿岸海域における無殻渦鞭毛藻 <i>Gymnodinium microreticulatum</i> の初報告	77
島袋寛盛・新井章吾・寺脇利信・野呂忠秀 日本産マジリモク（褐藻綱・ヒバマタ目）の分類と分布	85
<hr/>	
藻場の景観模式図	
寺脇利信・新井章吾：21. 神奈川県三浦半島・小田和湾湾口部の海草藻場の変遷	89
藻類学最前線	
岩滝光儀：渦鞭毛藻類の出現と分化に関する古生物学的証拠	93
須藤 斎：始新世/漸新世境界（約3,370万年前）の渦鞭毛藻類から珪藻類への一次生産者交代事変の可能性	95
高橋俊一：海水温上昇によるサンゴ共生藻 ( <i>Symbiodinium</i> spp.) の光阻害機構	98
寺田竜太・Celia M. Smith：米国ハワイ諸島における移入海藻の増加と地域社会の対応	101
秋季藻類シンポジウム (2005. 11. 30) 「海藻と健康」講演	
木村忠明：特定保健用食品について	105
辻 啓介：食物繊維の知識 — 海藻とコレステロール胆石 —	110
丸山弘子：海藻と免疫機能 — 特にフコイダンの生理活性 —	115
吉田忠生：故 會呈奎氏の思い出	123
川口栄男：追悼奥田武男先生	125
宮村新一：堀 輝三先生のご逝去を悼む	127
日本藻類学会第30回大会開催記・参加記	
寺田竜太・野呂忠秀：日本藻類学会第30回大会を終えて	131
鈴木雅大：大会・第3回亜熱帯性ホンダワラ属藻類の分類に関するワークショップ参加記	133
山口愛果：エクスカッション参加記	135
英文誌 (Phycological Research) 53巻4号掲載論文和文要旨	136
学会録事	138
学会・シンポジウム情報	142
書評・新刊紹介	143
会員異動・入会案内他	144
会則	147